

『図書だより』 ～生徒お薦め編④～ 平成29年度

図書だより 第12号

生徒お薦め編の「図書だより」、「3人のお薦め本を紹介してきました。図書委員といってもお薦めジャンルは3人3様でおもしろいですね。

今回のお薦め本の舞台は定食屋さんです。美味しそうな予感がします。

さて、いったいどんなお話なのでしょう？

案内役を務めますのは、3Eの乗田君です！どうぞ！

私のお薦めの本 「神様の定食屋」

3E 乗田 海世

私のお薦めする本は、「神様の定食屋」という本です。

この本は、両親が事故で亡くなってしまい、父親がずっと続けてきた定食屋をどうしても妹がやりたいと言って、仕方なく続けることを決めた兄と妹の物語です。

最初は、やろうと思ってやる気のあった兄ですが、全く料理ができませんでした。そこで、神社に行ったところ、神様に話しかけられて、死んだ人の魂を体に入れるかわりに、料理ができるようになると言われました。

そして、兄は料理ができるようになったので、神様の言うとおりにしました。

最初は、おばあさんの魂が入って、チキン南蛮が作れるようになりました。その後も、たくさん人の魂が入り、いろんな料理を作れるようになっていきました。

この本は、とても内容が短くて、分かりやすいので、みなさんもぜひ読んでみてはどうでしょうか？

